

令和4年度 東京都立墨田工業高等学校(定時制)学校経営計画

	1 学習指導	2 進路指導・進路指導	3 特活・部活	4 安全・健康教育	5 募集広報	6 学校経営・組織	7 企画室
ア 重点目標・数値目標	わかりやすい丁寧な実践と基礎学力及び基礎体力の定着 ①普通教科(基礎学力の定着と向上) ・国語:読解力の定着、語彙力の増強、漢字検定合格者増加 ・地歴公民科:主権者教育、常識ある行動の基となる基礎知識と実践力の定着 ・数学、理科:基礎・基本の定着を図り、資格取得率の向上 ・英語:基礎学力の定着及び検定受験を取り入れた教科指導 ・保健体育:基礎体力の向上、体力テスト全国平均を目標 ②工業科:「ものづくりを通して人をつくる」指導体制の充実 ・教科・分掌を横断した指導により、資格取得・検定合格者の総延べ数を50名、ジュニアマイスター顕彰受賞の輩出 ③全教科 ・補習・補講を5時間以上行い、基礎学力の定着及び向上ならびに学習意欲の向上 ④個に応じた指導 ・特別な支援を必要とする生徒に対する指導の充実と授業改善にかかわる校内研修の実施 ④授業改善、教員相互の授業見学を年3回実施 ⑤補習・補講を5時間以上行い出席率の向上 ⑥読書活動の充実と図書館利用率の向上、各授業で年間3回以上の図書館利用 ⑦東京2020大会レガシーの浸透の推進	専門的職業人に必要な資質を身に付ける職業教育の充実 ①進路決定率100%、進路未決定者をゼロにする。 ②3学年対象インターンシップ2日間、全員参加実施 ③進級・卒業率を1年生70%以上、2年生90%以上、3年生100%、4年生100%を目指す。 ④年間指導計画に基づいたホームルーム活動の実施、個人面談を年3回以上実施。保護者会や懇談会を複数回実施 ⑤生活指導統一基準:「身に付けさせる規律・規範」に基づき全教員による生活指導に取り組む。全教員が授業開始のチャイムで始め、終わりのチャイムまで授業を行い、生徒に「時間を守る」意識を育成する。 ⑥いじめ総合対策【第2次】に基づき、全職員が早期発見や未然防止に努め、いじめゼロを目指す。 ⑦特別な支援を必要とする生徒への積極的な支援の実施 ⑧皆勤者・精勤者の割合30%以上を目指す。	コミュニケーション能力と問題解決能力の育成 ①工業関連講演会を1回以上実施 ②部活動の年度当初の部活動加入率80%以上 ③顧問教諭等は、年間目標、指導方針、指導内容、指導方法等について計画を立て、体罰、暴力的指導および行き過ぎた指導のない部活動の実施 ④「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づき、体育的行事、運動部奨励する。 ⑥いじめ総合対策【第2次】に基づき、全職員が早期発見や未然防止に努め、いじめゼロを目指す。	命の大切さ生きることの尊さを学びとともに思いやりのある人づくり ①すべての教育活動において、安全教育、安全点検を徹底し、学校事故、重大事故ゼロの堅持 ②1年生を対象にグループエンカウンターを3回実施 ③1年生全員がSC面談を行い、相談しやすい環境を構築また、学習や生活面で特別な支援を必要とする生徒への特別支援体制を整備 ④セーフティ教室(薬物乱用防止、交通安全教育、携帯電話安全管理等)を年3回実施 ⑤防災教育の観点から現実的な課題に対応した防災訓練、避難訓練を年間4回以上実施 ⑥歯科保健指導を1回実施	総合技術科としての魅力を打ち出した募集対策の充実 ①HPを週一回以上更新し、充実を図るとともに本校定時制の一層の理解を目指す。 ②第一次募集の応募倍率1倍以上の確保 ③近隣中学校訪問等を、教務部を中心に全教職員で行う募集活動の展開 ④学校説明会等3回以上実施、参加者延べ総数60名以上 ⑤HPやTeams等の情報発信能力を最大限に活用して、学校の教育活動、資格取得状況、進路状況、給食等の学校情報を月に2回以上の配信 ⑥本校への興味関心が高まる学校紹介の動画の作成	学校の課題を共有し問題解決に組織的に取り組める体制 ①開かれた学校づくりを推進のため、通年の授業公開と授業公開週間を年間3回以上実施 ②地域や関係機関と連携し、各災害に備える防災訓練、避難訓練を実施 ③服務事故に関する校内研修を年2回以上実施し、事故の未然防止を徹底 ④週あたり在校時間45時間以上の教員の縮減 ⑤各種会議の開始時間厳守及び上限時間(1時間以内)を設けて業務の効率化 ⑥東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次実施計画に基づき共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	施設設備ならびに環境整備および食の安全の管理・運営 ①私費会計の適正な管理に努め、保護者への説明責任に応えられる適正な会計処理の実施(学校徴収金未納による赤字執行ゼロの徹底) ②学校経営計画に基づく公開的な予算の編成及び執行に取り組み、効率的かつ有効的な予算活用とセンター執行率の向上に努める。 ③個人情報の適切な管理・取り扱いの実施、個人情報漏えい防止の徹底(事故ゼロ) ④生徒の健康を重視した安心・安全で温かな給食の提供
イ 令和4年度	①生徒一人1台端末の有効的、効果的活用の実施 ②生徒一人一人の基礎学力の定着と学力向上に向けた学習教材(Classi)等を導入するとともに、実授業時数を確保し、各教科で補習・補講等を実施 ③授業規律を確立し、反復練習や繰り返し指導、小テスト等を行い、基礎・基本を確実に習得させると共に、ICT機器を効果的に活用するなど分かる授業を推進 ④年間授業計画の確実な実施のため、週ごとの指導計画を作成する。授業の内容について工夫・改善・評価を行い、授業改善と授業力向上 ⑤生徒の特性等に応じて柔軟に対応可能な授業改善に向けた校内研修を実施 ⑥体育で「一校一取組」運動を展開するなど、基礎体力の向上を図るとともに、東京都統一「体力テスト」の実施 ⑦オリンピックやパラリンピアン为学校教育への参画による運動・スポーツの特性や楽しさを味わうことで、生徒の自己実現に向けて努力しようとする意欲やスポーツを通して共生社会の実現に貢献しようとする態度を育成する。 ⑧三修制の履修形態や単位認定等について、生徒の実態を踏まえ、効果的かつ適正に運用	①「キャリア教育の年間計画」を着実に実践 ②学科・教科等で、資格取得や検定合格に向けた講習等を実施し、合格実績の向上 ③3学年においてインターンシップを実施 ④上級学校進学に対応できる学習指導等の充実 ⑤ホームルーム担任を中心にして生徒の実態をきめ細かく把握し、生徒指導に活かす。 ⑥人権尊重の教育を推進し、共生の心や実社会で実践できる規範意識を備えた生徒の育成 ⑦挨拶の励行、欠席・遅刻・早退の少ない生活指導に粘り強く取り組む。 ⑧生徒相互の友愛の心、自己肯定感などの育成	①部活動や学校行事に対して生徒が主体的・積極的に取り組むよう指導計画を作成及び実施 ②各教科・特別活動等の教育活動を通して、生徒の読書活動を奨励 ③学習活動や生活面で特別な支援を必要とする生徒への適切な指導や必要な支援の実施 ④運動やスポーツとの多様な関わりを通して健康で活気に満ちた生活をデザインできるよう支援する。	①防災教育の一層充実、生徒、教職員の安全・防災(地震・火災・風水害)に対する意識の一層の向上 ②保健計画に基づく学校保健の取組、学校保健委員会の活性化により、心身の健康及び体力の保持増進について生徒自ら考え行動する力の育成 ③生徒の健康管理及び救急対応への校内体制を充実させ、安全・安心な学習環境の確保 ④薬物乱用防止、交通安全、健康に関する講演会の実施により、健康的な生活習慣の確保 ⑤養護教諭と学級担任の連携を深めるとともに、SCを活用しての教育相談活動の充実 ⑥自殺対策に資する教育、命の大切さを実感できる教育、様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育(SOSの出し方に関する教育)	①本校の取組や特色を効果的に発信し、中学生やその保護者からの信頼に応える学校づくりを推進すると共に、組織的な募集活動を展開 ②入学希望者が意欲と目的意識をもって応募できるよう、学校案内やリーフレットや動画作成するなど一層分かりやすい内容となるように改善 ③Twitter等を活用し最新の学校の情報を配信させ、魅力ある学校の理解に繋げ受検者の興味関心を促す。	①主幹教諭・主任教諭を軸に有機的な連携を図り、各分掌組織の機能向上 ②地域や関係機関と連携し、各災害に備える防災訓練、避難訓練を実施 ③個人情報の適正な管理、体罰の防止、法令等の遵守、服務の厳正、教職員の接遇マナー向上 ④月に1回以上特別支援教育推進委員会を開催し、特別な支援が必要な生徒に対する理解を一層深め、情報を共有し組織的な支援に取り組む。 ⑤業務の効率化を徹底し、職員の在校時間を縮減	①学校経営計画実現に向け、経営企画室の業務の充実を図るとともに、迅速な対応の実施 ②自律経営推進予算を計画的に執行し、センター執行割合の一層の向上 ③計画的な施設・設備の整備の実施 ④生徒の健康を重視した安心・安全で温かな給食の提供
ウ 中期	授業時数確保・授業内容の改善、教育課程の適正運用を図り、生徒の学習意欲の向上と主体的な学習態度を養い、学力や体力を向上させる。また、新学習指導要領等を踏まえ、新しい教育課程の導入のための準備及びブランドデザインのブラッシュアップを行う。	生徒の進路希望の実現を学校経営の柱に位置付け、全体計画に基づいて、系統的・組織的にキャリア教育を推進する。 すべての教育活動を通して共生の心や思いやりの精神を育み、社会生活の基本的ルール、自らの権利と義務、自由と責任について認識を深めるとともに社会の一員としての自覚を養う。	学校行事の充実、部活動の加入促進に努め、強健な体力と不屈の精神、明朗活発な気風を培う。	安全で安心して学べる学習環境を確保するとともに、生徒が生き生きとした学校生活や社会生活が送れるように安全教育や健康づくりを推進する。また、自助、共助、公助の意義を理解させ災害に対する認識を深めるさせる。	地域との交流、公開講座・施設開放などを通して、地域に貢献する開かれた学校づくりを学校全体で取り組む。また、本校の取組を積極的に発信し、目的意識の高い中学生の応募を促す。	教育内容や教育活動の質的な向上を目指し、授業評価、学校運営開かれた学校づくりを学校全体でPDCAサイクルを確立すると共に、教職員の意欲と使命感を高め、学校全体の教育力を向上させる。三修制について、適正に運用する。	専門学科等での施設・設備の整備と充実を図るとともに、清新な学習環境を構築できるよう、校内の施設の環境整備を図る。また、バリアフリーおよび施設・設備の老朽化に対応し、修繕・改善に不断に取り組む。
エ 目指す学校	学校の教育目標である『①高等学校学習指導要領に示された教育課程に則り、機械・電気・建築・自動車の各分野における知識や技能を取得させる。②工業の実践的な技術者として、社会の発展に寄与できる人間を育てる。③生徒一人一人の豊かな個性と創造力を伸ばす教育を通して、社会に貢献しようとする人間を育てるとともに、すべての生徒に人権尊重の精神を養わせ、国際社会に生きる日本人を育てる。』を達成するため、全職員で、下に掲げる学校を目指して取り組み、確かな技術力と社会性を身に付け、自信や誇れるものをもった生徒を育成する。 1 工業の実践的技術者として、社会の発展に貢献する生徒を育成する学校 2 生徒一人一人の個性を生かし、創造力を伸ばす学校 3 キャリア教育を推進し、「ものづくりを通して人をつくる」教育を進める学校 4 規範意識と社会性を身に付け、学校生活の基本である授業規律が確立している学校 5 学習や資格取得、進路活動への目的意識を高め、生徒が目指す進路を実現する学校 6 安全教育を推進し、自他の安全に配慮した主体的に行動のできる人材を育成する学校						

・目指す資格:第2種電気工事士、危険物取扱者乙種、工事担任者、建築大工技能士(2・3級)、とび技能士(2・3級)、3級自動車整備士、基礎製図検定、計算技術検定、その他